

## 2022 年度特定研究奨励金 報告書

### 報告者所属・氏名

所属	生活科学部生活文化学科	氏名	高橋桂子
----	-------------	----	------

### 奨励金による研究活動・実績（具体的に記載）

10 月

- ・ 70 歳以上女性を対象とした、特殊詐欺被害に関する調査項目・枠組み・質問内容の検討→設計（消耗品：図書費（詐欺&統計）5 万円）
- ・ 経済学領域の枠組みは OECD 型モデル、心理学領域で用いる概念は「限定合理性」

11 月

- ・ 11/5 新潟青陵学会に出席(基調講演：なぜ人は操られ支配されるのか、講師：西田公昭・立正大学教授旅費・参加費 3.5 万円)
- ・ 「潜在クラス分析」(消耗品；JMP 18 万円) の手法をマスターする。

2 月

- ・ インターネット調査の調査票作成検討。潜在クラス分析のためにサンプルサイズ 500 以上は必要(Finch & Bronk, 2014)

3 月

- ・ インターネット調査の実査。

調査時期：2023.03.15(水)～2023.03.19(日)

性別： 男女(男性：女性=2：5)

年齢： 65～79 歳(65～69：70～74：75～79 歳=ほぼ 1：1：1)

職業・地域： 指定なし

サンプル数:1643 名

現在、分析中である。